

細見美術館

陶磁器に出会うⅦ

デミタス コスモス

★ 宝石のきらめき ★
★ カップ&ソーサー ★

Glitter of Jewelry

DEMI
TASSE
COSMOS



平成26年 7月8日[火]～9月28日[日]

<http://www.emuseum.or.jp>

陶磁器に出会うⅦ

デミタス コスモス

—宝石のきらめき★カップ&ソーサー—

平成26年 7月8日(火)～9月28日(日)

陶磁器に出会うシリーズの第7弾となる今回は、「デミタス」の登場です。

デミタスは食後に深く濃い味わいのコーヒーを飲むための、フランス語で半分のカップを意味する小ぶりの器のことです。どれも一様に、掌にすっぽりとおさまるほどの愛らしき大きさにもかかわらず、形状や加飾とも驚く程に多彩であり、その美しさ故に多くの人々を魅了しています。

本展では、18世紀から20世紀初頭のマイセンやセーヴル、ミントン、KPMベルリン、ロイヤルウースターといったヨーロッパの名陶のデミタスを紹介していきます。40年にわたり鈴木康裕・登美子夫妻が1点ずつ収集された作品と、デミタスと共に愛好されている関連作品も併せてご覧いただけます。

宝石のような煌めきを放つデミタス約300点が、一堂に展観されるこの機会をお愉しみください。

陶磁器に出会うⅦ

デミタス コスモス

—宝石のきらめき★カップ&ソーサー—

平成26年 7月8日(火)～9月28日(日)

主 催 細見美術館 毎日新聞社
開館時間 午前10時～午後6時(入館は5時30分前まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
入館料 一般1,100円(1,000円) 学生800円(700円)
※()内は20名以上の団体料金
会 場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
<http://www.emuseum.or.jp>

出品作品数 321点
お問合せ先 広報担当 三宅 由紀
E-MAIL/ kouhou@emuseum.or.jp
TEL/ 075-752-5555
FAX/ 075-752-5955



デミタスは器体が小さいにも拘わらず、目を見張るような技や華麗な装飾や絵付がなされています。技と美が凝縮された小宇宙—デミタス コスモス—といえるでしょう。

主な作品 >>>

上絵金彩ジュール透彫カップ&ソーサー <ロイヤルウースター>



本展一の超絶技巧を駆使した作品。

道具を駆使して規則的にきっこうなぎ亀甲繫などの小さな形がくり抜かれている。つまり、全体が透かし彫りで、液体の溜まらないデザインとなっているのだ。

彫りのつぎ目には、大きさが均一の金の小粒が整然と並び、カップの把手部分やソーサーの中央部には、「ジュール」と呼ばれる宝石に似せた白や青、水色のエナメル彩が優雅さを演出している。

これはイギリス・ロイヤルウースター社のジョージ・オーエンによるもの。彼はこの技術を、誰にも明かしてはいない。ここまでの緻密な透彫りは彼以外に行える者はいなかった。

上絵金彩貼花鳥蓋付カップ&ソーサー <マイセン>



一体どこに口をつけて飲もうかと、一瞬ためらってしまうこのカップ&ソーサーの器面には、一つ一つ貼り付けられた小さな白い5弁の花で埋め尽くされている。その様子から「スノーボール(西洋マリカンボクの別名)と呼ばれ、マイセンを象徴する、人気の高いシリーズ。

彫塑家のヨハン・ヨアヒム・ケンドラーによるこうしたデザインは、アウグスト3世の妃マリア・ヨゼファに贈られたティー及びコーヒーセットに初めて用いられた。



上絵金彩ジュール四面絵付カップ&ソーサー <ロイヤルウースター>



ほとんどの作品は一人の絵付師が流行の絵柄、模様などを描いているが、本作は、イギリス第一の名窯 ロイヤルウースターの4人の絵付けの名手が、それぞれ得意な分野の絵を描いた合作の作品。

可憐な花の絵はアーネスト・ジョン・フィリップス、葡萄などの果実絵ではウォルター・ハロルド・オースティン、愛くるしい動物をハリー・ステイントン、そしてレイモンド・ラシュトンがのどかな風景画を手掛けている。

限られたスペースに描かれた絵には、各絵付師のサインが小さく入っている。ご来館の際は目を凝らしてサインを探していただきたい。

上絵金彩藤図カップ&ソーサー <日本>



今回の展示ではヨーロッパの作品のみならず、日本の作品もご覧いただける。様々な器形や装飾技法は海外作品を参考にしたものが多いが、絵付けは日本人らしく極めて緻密。

このカップ&ソーサーには白、水色、薄紫と色分けされた幾房もの藤花が咲き誇っている。花びら一枚一枚にいたるまで丁寧に描き込まれたカップを持ち上げると、ソーサー中央には藤花に集まったかのように色とりどりの蝶も舞っている。

錦光山は京都・粟田焼の陶家。六代宗兵衛は京薩摩を創り、家督を継いだ七代はアール・ヌーヴォー、アール・デコ様式を取り入れるなど流行の意匠への関心が高く、様々な作品を残している。



イベント1 >>>



主催＝細見美術館 毎日新聞社 休館日＝毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
開館時間＝午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)
会場＝細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 075-752-5555
<http://www.emuseum.or.jp>

会期中の
イベント

ギャラリートーク開催! 9月5日(金)14時～

講師:塩谷哲夫氏(西洋骨董陶磁ロムドシン代表取締役)

※聴講無料

ただし、別途入館料が必要です

イベント2 >>>

| 事前申込制 |

気軽にお茶会体験 第32回

★洋食器の
ミニ茶会★Ⅲ

平成26年

日時

9月20日(土) 13時～・15時～

21日(日) 11時～・13時～・15時～

陶磁器に会うⅦ「デミタス コスモス 一宝石のきらめき★カップ&ソーサー」展にちなんで、洋食器で抹茶を楽しむシリーズ第3回目を開催します。

洋食器の、そして抹茶の新しい魅力をきっと発見できるはず…!

会 場 茶室 古香庵 (細見美術館内 3階)

参加費

お一人様 3,300円 ※表記はいずれも税込価格です
(フレンドシップメンバー 2,600円/サポートメンバー 2,200円/フェローシップメンバー 無料)

定 員 各席15名

内 容

お茶の前の小さな楽しみ、生菓子と薄茶、小さなおみやげ *所要時間 約50分

特 典

当日の無料観覧 (10:00～18:00 入館は17:30まで)

▶ 陶磁器に会うⅦ「デミタス コスモス 一宝石のきらめき★カップ&ソーサー」展

※9月12日(金)以降のお取消しにはキャンセル料が必要になる場合があります。

申
込
方
法

TEL/075-752-5555・FAX/075-752-5955・E-MAIL/event@emuseum.or.jp
美術館受付窓口にてお申込みいただけます。

・イベント名(件名)・ご希望の日時・お名前・参加人数・ご住所・ご連絡先(TEL・FAX・E-MAILなど)をお知らせください。
・お申込みいただいた方には、追ってご案内をお送りいたします。(ハガキ・FAX・E-MAILのいずれか)
※1週間を過ぎてもご案内が届かない場合は、お手数ですがTELにてお問い合わせください。

茶室 古香庵 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 細見美術館内 3階